

# めぐみ厚生センター センターだより

第 315 号

発行 2010年1月15日

佐賀市緑小路1-3

社会福祉法人

めぐみ厚生センター

めぐみ園 0952(34)7722

富士学園 0952(63)0107

ウイズ富士 0952(51)0063

発行者 栗林 恵一  
事務局 0952(25)2797  
印刷所 (株)古川総合印刷

新年あけましておめでとうございま  
す。昨日（二〇〇九年十一月三十一日）  
は雪がちらつくどんよりとした曇り天  
気でしたが、今日（二〇一〇年一月一  
日）はおだやかな晴天となりました。  
この天気と同様、昨年は日本は政権交  
代し、今まで以上に先の見えないどん  
よりとした空気のままで新たな年を迎  
えました。今年は今日（二〇一〇年一  
月一日）の天気のようにおだやかな日々  
を過ごせばいいのですが・・・。

今年の福祉の世界は例年なくます  
ます先の見えない厳しい状況になつて  
いるようですが、一時期の「どん底」  
は脱したのではないかと思います。福  
祉施設職員の処遇改善の問題に対して  
も目を向けられるようになってきました。  
これは大変いことだと思います。  
しかしながら私達の中心はあくまでも  
利用者の方々であります。利用者の方々  
がいかに満足して楽しく充実して過ご  
せるかが大切です。そのためには利用  
者一人一人にそれぞれに適したサービ



## 「正しい道」

社会福祉法人めぐみ厚生センター

理事長 栗林 恵一



スが提供されなければなりません。そ  
のためにはその人を知ることが大切で  
す。その人を知る（情報を得る）には  
まず自分の心を開いて相手と同じ立場  
に立つて接していくかなければならない  
と思います。それが「共に生きる」こ  
との第一歩だと思います。自分の心を  
閉ざし口先だけで相手に接しても正し  
い情報は得られません。また、心の底  
から相手と接するということは人間関  
係の原点ではないでしょうか？

この世の中は先の見えにくい混沌と  
した世の中となつております。何が正  
しいのか、何が間違っているのか正し  
く判断することが難しい時代となつて  
おります。また、今は時代の流れにのつ  
て正しいとされる道を進んでいると思つ  
ていても、ある日突然状況が変わり、  
それが誤った道となることもあるかも  
しれません。そのような中にあつてこ  
のめぐみ厚生センターはキリスト教の  
愛の精神によって建てられています。

神様からの愛はいつの時代も変わりま  
せん。その愛を持つて利用者の方々と  
接していればそれは常に正しい道とし  
て備えられます。

今は情報化の時代でいろいろな情報  
が満ちあふれております。その莫大な  
情報をいかに正確に、そして素早く収  
集・整理して行かなければなりません。  
しかし、唯一の正しい道・神様からの  
変わることのない愛を見失わない限り  
どんな時代にも適応していくと思つ  
ています。このような時代だからこそ、  
利益よりも「共に生きる喜び」を求め  
て、この一年を関係者の皆さまと共に  
歩んでいきたいと思います。どうか今  
年も何卒宜しくお願ひいたします。





十二月八日、「障害者月間」事業ワーオクトウギヤザー・フィナーレに利用者十二名と家族会会長及び職員五名が参加しました。

当日は晴天にも恵まれ、少し汗ばむ程の陽気で佐賀市役所から二・三キロ離れた佐賀県庁まで、アピールウォーク隊の一員として歩きました。

休憩を交えながら佐賀県庁に着くとあたたかい出迎えを受け、式典に参加し記念植樹も行い、利用者の皆さんは笑顔で貴重な体験ができたひとときでした。

ウォーク・トウギヤザー！  
フィナーレ

めぐみ園



題：「きらきらと輝く日」



十二月十六日、小原流の溝田先生他、門下生の方々が来園され、今年もクリスマスらしい色鮮やかな生花を見ながら皆さん、クリスマスをむかえます。

溝田先生 生花



十二月二十六日、めぐみ園食堂にて、富樫牧師を迎えて厳かにクリスマス礼拝が行われました。讃美歌や富樫牧師のクリスマスの説教を聞きクリスマスを祝いました。

第二部の祝会、めぐみ園利用者の方々の器楽合奏では、新しいメンバーを加えて、新しい曲にも挑戦しました。最後には、東与賀小学校校長 吉原敏郎先生によるマリンバのミニコンサートが行われました（ピアノ伴奏 徳久夕子様）。会場がコンサートホールになつたように静まり返り、大きな歓声に包まれました。

十二月二十六日、めぐみ園食堂にて、富樫牧師を迎えて厳かにクリスマス礼拝が行われました。讃美歌や富樫牧師のクリスマスの説教を聞きクリスマスを祝いました。

クリスマス礼拝・祝会



一月一日、園で過ごされている利用者の方々と職員で食堂に集まり、新年をお祝いしました。

始めに施設長より新年のあいさつがあり、その後みんなでおせちをいただきました。普段とは違ったおいしさそうな料理を前に、みなさん箸が止まらないようでした。

今年も一年よろしくお願いします。



謹賀新年

# 富士学園

もろびとこぞりて  
クリスマス礼拝・祝会



厳かな雰囲気の中で・・・  
十二月二十五日、今年も富士学園・  
ウイズ富士・ケアホームの利用者の方々  
とそのご家族、全施設職員が集い、イ  
エス・キリストの生誕を祝いました。

彩られた穏やかなひとときを、皆様思  
い思いに過ごしておられました。  
礼拝・祝会の後には、愛餐会が開催  
されました。クリスマスケーキを始め  
として、数十種類以上の料理が並び、  
笑顔と楽しい笑い声があふれています  
た。年々、立食が難しい方が増加して  
いることもあり、今年は多めにテーブ  
ルと椅子の準備を行いました。



見て、聞いて、食して、参加された  
皆様方は五感でクリスマスを楽しられ  
た様子でした。

おいしい料理に舌鼓!!



かわらないひととき

クリスマス礼拝・祝会

（昭和四十年代初期の写真）



めぐみ厚生センター草創期から続い  
ているクリスマス礼拝祝会。サンタさ  
んの向つて左が創設者である栗林眞吾・  
ミサ御夫妻、お孫さんで重い障害を持  
たっていた眞一さん、夫妻の後方に後の  
の富士学園施設長栗林恒俊氏の姿があ  
ります。



今も昔もクリスマス礼拝祝会はセン  
ターの最大の行事として新しいスタッ  
フ・利用者で受け継いでいます。

# ウイズ富士

紙工科お出かけ

十一月としては暖かい十九日、紙工  
科十九名の皆さんで鳥栖へ外出しまし  
た。昼食は基山の「丸幸ラーメン」お  
店に着くと自動販売機で食券の購入に  
挑戦しました。ラーメンが運ばれると  
「美味しいか」という声が聞こえてい  
ました。昼食後、コカコーラ鳥栖工場  
見学へ行き、コカラ誕生の歴史や商品  
の説明を聞き、皆さんがよく飲まれて  
いる商品に、目が釘付けになられてい  
ました。帰りには、たくさんのお土産  
を手にされ皆さん笑顔で帰りました。

有明海にお出かけ

十一月二十一日、風の少し強い日で

したが、赤く染  
まつたシチメン  
ソウを見学しに  
行きました。初  
めて見る景色に  
歓声が上がり、  
皆さんお散歩し  
たり、顔を近づ  
け、じっくり観  
察したりと思  
いに楽しみま  
した。



プロの方に撮ってもらってハイポーズ



(ローマの信徒への手紙 一章七節)

聖句

神に愛され、召されて聖なる者となつたローマの人たち一同へ。わたくしの父である神と主イエス・キリストからのお恵みと平和が、あなたがたにあるように。



韓国より アンニョン ハセヨ

十一月十七日、韓国仁川市にある姉妹園社会福祉法人「手と手」の張永順理事長はじめ、同じ仁川市の社会福祉法人「仁正財団」から十二名の職員が施設見学研修に来園されました。

## ふれあい

今回は、めぐみ園・富士学園・ウイズ富士と希望されていた老人施設の見学を、特別養護老人ホーム「シオンの園」様に受け入れていただきました。

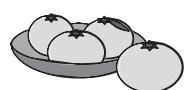


音楽活動にて



施設紹介と質疑

めぐみ園では、デイサービス事業に関心を持たれ、支援費の仕組みや個人負担、活動計画について多くの質問がありました。



### みかんの皮の活用法(富士学園)

冬の代表的な果物と言つてまず思い浮かぶのがみかんですよね。手軽にむいて食べることができるみかんは、冬には欠かすことができません。

今年も、ご家族の方の御厚意でみかん狩りにご招待を受けました。

そこで今回は、普段はゴミとして捨てるみかんの皮の活用法をご紹介します。お風呂に入れるとき、皮に含まれる油が溶け出し

て血行を良くし、冷え症や肩こり、神経痛等に効果がある入浴剤として使えます。その他に、油汚れ落し、革製品や床のつやだし、畳の黄ばみ落し等のお掃除にも活躍します。びっくりですね。

**皆様ありがとうございました  
(十一・十二月分)**

- ● ● ● ● ○ 法人へ
- 藤永 正弘 様より
- 小倉教会婦人部 様より
- 志免教会 様より
- 佐賀めぐみ教会 様より

寄付 寄付 寄付 寄付 寄付

- 堤 宏隆 様より
- レインボー 様より
- 富士町ボランティア
- 福助食品株 様より
- クリスマス祝会に来賓・家族 様より
- 富士学園活動コスモス 様より
- 祝儀並びに物品寄贈

寄付

- 野田 明利 様より
- 佐賀県共同募金会 様より
- N H K 年末たすけあい 義援金配分
- 生け花奉仕
- ○ 各施設へ
- 真子 重造 様より
- 佐賀県多量寄贈
- 森永 俊吾・春代 様より

生け花奉仕

## あとがき

新年、明けましておめでとうございます。二〇一〇年が皆様にとって明るく良い年でありますように!!

昨年よりまだまだインフルエンザが流行っています。手洗い、うがい等の予防に心掛けましょう!!

